



## 開運商法に注意！

【事例】新聞折り込みチラシを見て、姓名判断をしてもらうために出向いた。姓名判断後、開運のために印鑑が必要と言われ約30万円で購入してしまった。

<トラブルに遭わないためのポイント>

「手相」や「名前」「家系図」などを見て、「運勢が悪い」「悪いことが起こる」と人の悩みや不安をあおり、「運を良くするため」、「幸せになるため」と称して、高額な商品やサービスを契約させる開運商法の相談が寄せられています。

業者は、新聞折り込みチラシ、訪問販売などで「姓名判断」や「占い」「運命鑑定」をすると行って消費者に近づいてきます。開運商法では、被害に遭っているという意識が薄いこと、また業者に口止めされるため相談機関への相談が遅れることから解決が難しくなるケースが多くみられます。

不安をあおられ、高額な商品やサービスを勧誘されたときは、一人で決めずに家族や友人などの信頼できる人に相談するようにしましょう。

消費問題で困ったときは、消費生活センターにご相談ください。

問い合わせ 牛久市消費生活センター ☎830-8802 FAX830-8803

相談日：月・水・金曜日(午前9時～午後4時)

## みんなの 農業

～うしくスタイル～

### ご存じですか？露地電照栽培

牛久市の花でもある菊。最近では、かわいらしい品種が人気です。牛久市と龍ヶ崎市の生産者で構成される JA 龍ヶ崎市花<sup>かき</sup>卉部会の皆さんの小菊は、東京の市場でも高い評価を得ています。また全員がエコファーマー（環境に優しい農

業者）の認証を取得するという優等生ぶり。同部会のうち4農家が露地電照栽培に取り組んでいます。これは、夜間、菊に電球の光を当てて成長を抑え、開花時期を調整する栽培法です。年間1,000ケース以上の小菊を出荷する部会長の伊宝正雄さんと奥様の光子さんも、お盆用の出荷に合わせて午後10時から午前3時まで電照をしています。もともとは光子さんが始めた菊作り。今では正雄さんも菊に魅せられ、2人で力を合わせて早朝から作業を行っています。「けんかしてたって、仕事では協力しないと」という言葉に、夫婦のきずなが感じられました。



伊宝さんご夫妻と農業ヘルパーの皆さん

### 「うしく河童米」 mini 通信



スケールで稲の丈を計ります

7月の研修では、これまでの気象データと、田植え日、稲の丈、茎数、葉の色、幼穂(穂の赤ちゃん)の長さを調べて、穂の出る日を予想します。また、これらすべての情報から肥料の調整を行います。こうした科学的なデータに加え、欠かせないのが農業者の経験とカン。河童米の生産者はベテランぞろいですので、ご安心ください。

問い合わせ 市農業政策課 ☎873-2111内線1521～1522